

# 【野鳥の渡り】

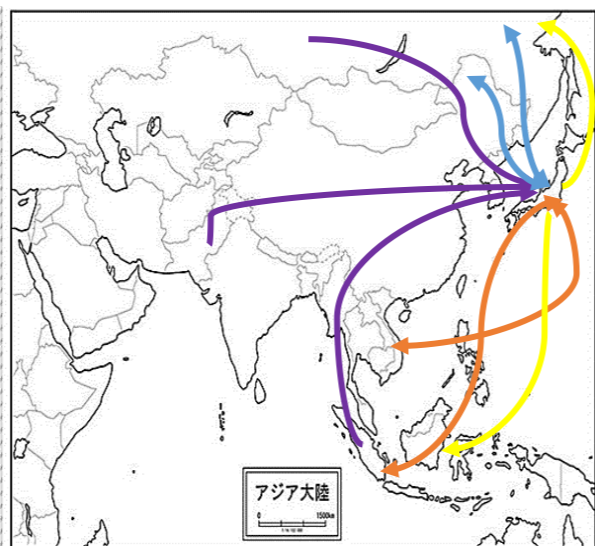
大多数の野鳥は多少なりとも季節による移動をしています。この季節による移動を「渡り」といいます。この「渡り」によって6つのグループに分けられます。グループ分け（写真参考）は愛川ふれあいの村の観察で考えました。

## ○留鳥（りゅうちょう）



1年中その地に留まって生活し、恋をして雛を育て、冬を越している野鳥たち。

（代表 スズメ）



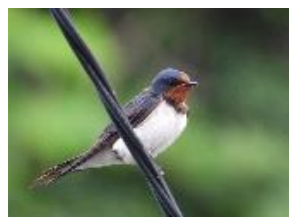
夏鳥 ← 冬鳥 ← 旅鳥 ← 迷鳥 ← 留鳥

## ○漂鳥（ひょうちょう）



季節によって生活の場を日本国内で移動する野鳥たち。春から夏にかけて高い山やより北の地域で繁殖したものが、秋から冬にかけて平地やより南の方へ移動するものです。留鳥のように移動しないでその地で生活するものもいます。一時的に村からいなくなるものは、漂鳥に入れました。（代表 ルリビタキ）

## ○夏鳥（なつどり）



春に南の国から日本に渡って来て恋の相手を見つけて巣作りをして雛を育て、秋にはまた東南アジアなど暖かい南の国へ渡り、冬を越す野鳥たち。（代表 ツバメ）

## ○冬鳥（ふゆどり）



夏鳥とは逆に北の国より秋から冬にかけて日本に渡って来て、冬を越して春には中国北東部やシベリアへ渡り雛を育てる野鳥たち。（代表 ツグミ）

## ○旅鳥（たびどり）



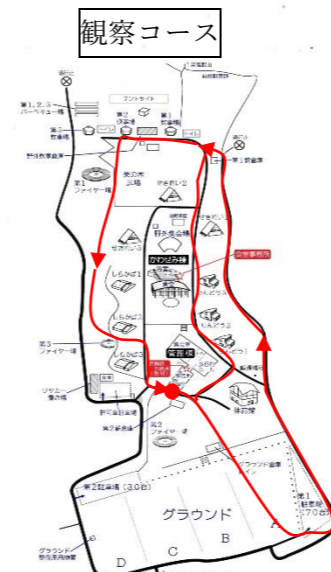
春や秋に北の国の繁殖地から冬を越す南の国を往来する途中で日本に立ち寄る野鳥たち。（代表 ニシオジロビタキ）

## ○迷鳥（めいちょう）



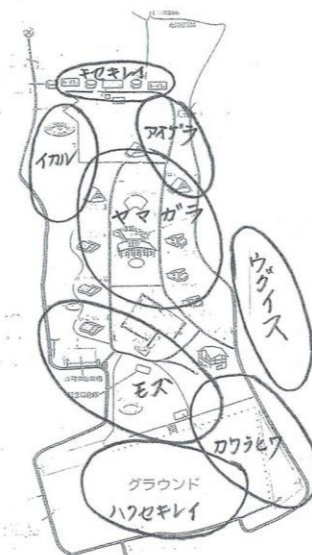
本来ならば日本にいないはずの野鳥。台風吹き飛ばされたり、ほかの野鳥の群れに混ざって、字のごとく迷い込んで来た野鳥たち。（出会いたい迷鳥代表 ロクショウヒタキ）。 ※2021年冬新宿御苑で観察される。

# 【愛川ふれあいの村 野鳥観察記録】

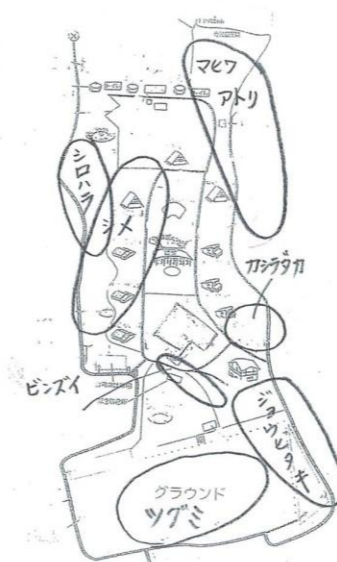


＜村内で主に観察された場所＞

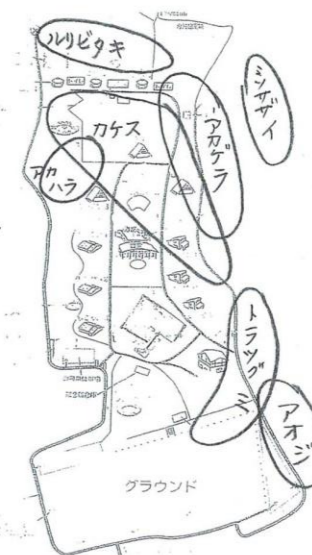
留鳥



冬鳥



漂鳥



夏鳥

